

PROFILE

Atsushi Wakimoto

- 平成 9 年 4 月 自治省採用
大臣官房会計課
- 平成 10 年 4 月 行政局選挙部選挙課
- 平成 11 年 4 月 奈良県企画部地域振興課
- 平成 12 年 4 月 奈良県総務部市町村課
- 平成 13 年 4 月 自治体国際化協会総務部総務課
- 平成 15 年 4 月 自治体国際化協会ニューヨーク事務所所長補佐
- 平成 17 年 4 月 自治体国際化協会シンガポール事務所所長補佐
- 平成 18 年 10 月 自治体国際化協会総務部企画課主査
- 平成 19 年 4 月 自治行政局自治政策課地域情報政策室電子自治体推進係長
- 平成 20 年 4 月 自治財政局交付税課交付税第二係長
- 平成 21 年 4 月 自治財政局交付税課交付税第一係長
- 平成 23 年 4 月 地方公共団体金融機構管理部庶務課庶務係長
- 平成 24 年 4 月 自治財政局交付税課主幹 併任 自治財政局交付税課意見処理専門官
併任 自治財政局財政課復興特別交付税室員
- 平成 26 年 4 月 現職

芦屋市総務部参事(財務担当部長)

脇本 篤



PROFILE

Tomohiro Oda

- 平成 15 年 4 月 総務省採用
自治大学校庶務課
- 平成 16 年 4 月 自治財政局地方債課
- 平成 17 年 4 月 福島県総務部市町村領域
- 平成 19 年 4 月 公営企業金融公庫管理調査部調査課
- 平成 20 年 10 月 地方公営企業等金融機構管理部経理課
- 平成 21 年 4 月 大臣官房会計課監査企画係長
- 平成 22 年 7 月 併任 大臣官房会計課予算執行調査室室員
- 平成 23 年 4 月 自治財政局調整課社会保障制度係長
- 平成 25 年 4 月 上尾市企画財政部財政課長
- 平成 26 年 4 月 現職

上尾市行政経営部財政課長

織田 知裕



総務省は魅力溢れる人達の集合体

仕事内容

財政を通して政策を実現する

財政を通して政策を実現する、これが私の財務担当部長としての仕事です。予算というツールを通して、芦屋にとって必要だと考える政策を実現することです。日々生じる問題や立ちはだかる課題から必要な解決策を見出すことはもちろんのこととして、市長が描く市の将来像から必要となる政策を編み出すことなど、財政の仕事は行政のダイナミズムが盛り沢山です。単に予算の歳入歳出の帳尻を合わせるのが財政の仕事ではなく、施策の担当部局をリードし、時に奮起を促す役目が求められます。このような職責を担って日々市長をお支えすることは大変な重責です。その重責を逆に自らの力とする源となっているのは、総務省での経験があるからにほかなりません。尊敬する総務省の上司、先輩、同僚だったらどのような判断をするだろうか、ということが常に頭の中にあります。背負う責任の重さを感じながら、それを大きな喜びとして、日々仕事に取り組んでいます。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

岐路の選択に際して

皆さんは、職業選択という人生の大きな岐路の一つに立っているところだと思います。幾多にも分かれる道を目の前にして、社会人としての一步をどの道に踏み出すべきか模索の中にあると思います。その岐路の選択に際して、このパンフレットを手に、総務省に関心を抱いていただいているところだと思います。では、総務省の魅力ってなんでしょか。私は即座に、そこで働く「人」だと答えます。仕事人が人を創る、という言葉があります。責任ある仕事を任せられた人が、懸命に取り組むことによって、人としての器がさらに大きくなる、ということだと思います。総務省では、霞が関勤務において、一人一人が大変大きな仕事を任せられます。また、その経験を糧に、地方自治体勤務においても、重要な仕事に取り組むことができます。霞が関勤務と地方自治体勤務との行き来の中で、まさに「人」創りを行っているのが総務省です。



週末の楽しみの一つは市内散歩です。見知らぬ街を歩くのは心躍りますし、それが自分が赴任した街ならなおさらです。まだ行ったことのない市の施設などを目標に、道中目に留まったちょっと洒落た喫茶店にて、谷崎潤一郎や村上春樹など芦屋で過ごした作家の名著にふける至極の道草です。



国の最先端としての地方

仕事内容

23万市民の家計を守る

現在私は、人口約23万人である上尾市の財政の責任者として、市が目指す「笑顔きらめく”ほっと”なまちあげお”実現のため、各課からの予算要求をとりまとめ、約600億円の使い道を決めていく仕事をしています。高齢化の進行により収入が伸び悩んでおり、全ての要求を実現することが出来ないため、市民にとって何がいま一番必要なのか、自分の「モノサシ」で優先順位をつけて、事業を絞っていくつらい立場でもあります。しかし、お金がないからこそ知恵の出番です。これまでの自分の知識・経験を総動員し、各課で重複する事業を一つにまとめたり、内容を工夫することで国の補助金を確保するなど、アイデアを出し、担当課と協力して市民にとってのベストを模索していきます。お互いの意見があわないこともあります。このように市全体を見渡せる立場から、すべての市民の幸せのために働くことができることに大変な責任とやりがいを感じています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

地方は国の末端ではなく先端

「地方は国の末端ではなく先端である」市長からよく言われる言葉ですが、まさにその通りです。国の制度変更不安をもつ市民・事業者への説明に迫られる市職員之苦勞、障害をもつお子さんの保護者からの切実な相談、地域の実情を熱く語る市議会議員との議論、これらは私が経験した一部ですが、日本が抱える課題の最先端(現場)がそこにはありました。総務省は、そんな国の最先端である地方が仕事をしやすいように、財政や税制面などで支える役所であり、そのためには時に他省庁にも厳しく注文します。決して楽な仕事ではありませんが、その先の市民に直結する仕事です。私自身、何か人の役に立つ仕事があったという思いで総務省の門を叩きましたが、地方と国を行き来し、現場を感じ、かけがえのない経験と仲間を得て、その選択は間違っていなかったと断言できます。皆さんも、私たちと一緒に人の役に立つ仕事をしてみませんか。



休日は、市内・近隣で行われるイベントに良く参加します。上尾市は東京方面へも電車1本で行けるなど、アクセスも良く便利です。自然も豊かで公園も整備されており、すっかりランニングにはまってしまいました。箱根駅伝のランナーも出場する市のマラソン大会に出場し、記録更新に励みます。



とある一週間

- 月曜日 毎週月曜日は市長以下部長級の定例会議に出席し、各部局の案件について協議。
- 火曜日 午前は財政課と予算の執行方針について協議。午後は教育委員会からの説明受け。
- 水曜日 市議会本会議に出席。税財政に関連する質問に対しては積極的に答弁。
- 木曜日 午前は決算見込について副市長協議。午後は来年度予算編成について市長協議。
- 金曜日 税制改正のポイントと条例改正内容について、市税担当課からの説明受け。

とある一週間

- 月曜日 いつもより早めに出勤!幹部会議で来年度予算案を報告します。
- 火曜日 定例記者会見に出席。市長とともに記者からの質問に答えます。
- 水曜日 前日の発表が新聞記事に!各議員にアポ取りし、予算案の説明。
- 木曜日 議会でのあらゆる質問を想定し、準備をします。
- 金曜日 予算案審議の議会に出席。緊張しながらも丁寧に答弁します。

地方自治体

関係省庁

海外

留学

地方自治体

関係省庁

海外

留学